

・構文交替の観点からみた「あふれる」の

分析

（香椎鴻『第五号』）

・共著 実験言語の展望 日本語文法脳機能研究部会の発足に向けて

（科研費成果報告書『文法理論の語言

語現象への適切な適用に向けて』）

平成十八年度

英文学科教員著書・研究論文業績

◎山中光義

・「ワースワースとヤロー川」*Newsletter*

No. 26 (April, 2006) 日本カトリック

学会

・「学術講演」…「チャイルド・ベラットの

全訳を終えて」日本カトリックニア学会全

国大会（9月30日、福岡女子大学）

・「チャイルド・ベラットの全訳を終えて」

（全国大会学術講演要旨）*Newsletter*

No. 28 (December, 2006) 日本カトリ

ックニア学会

・「棟井幹生氏の書評に応じて」同誌

・監修『全訳 チャイルド・ベラッド』第

3巻 音羽書房鶴見書店 2006年12

月

◎吉崎邦子

・「ホロコーストの生き残りはいかに記憶

を語るか—*The Shoal*における女性の

経験と語り」福岡女子大学文学研究会

編『文学における女性と暴力』2006.3.

30.

◎馬場弘利

【書評】吳孝之 著 *Full Metal Apa-*

che: Transactions Between Cyberpunk

Japan and Avant-Pop America (Duke

University Press, 2006) 『アメリカ学

会会報』162号（2006年11月）

◎C.S. ピュー

・“Retrograde Destiny: Transpacific

Traces in the Works of Whitman,

Steinbeck, and Snyder.” Paper

presented in a Panel Discussion on

“Transpacific Traces in American

Literature” at the 52nd Kyushu Amer-

ican Literature Society Conference,

May 13, 2006.

・Panel Discussion Leader for a Panel,

「どう読むかスタインベック—私の推奨

する作品」第30回記念大会日本スタ

インベック学会（2006年5月22日）

・“Horriifying Conclusions: Making

Sense of Endings in Steinbeck's Fic-

tion.” Steinbeck Review/Steinbeck

Studies (San Jose State University)

Vol.3 No.1, Spring 2006.

・“Free-range Chicken, Santa Claus,

and Humane Executions: Steinbeck

and the Fictive Dimensions of Ecology

and Ethics.” Paper presented for a

Panel Discussion, 「スタインベックの

今日、これから」日本英文学会九州支

部第59回大会（2006年10月28日）

◎向井剛（毅）

・「慈悲なき美女」に女性の声を聞く

—男の身体と言葉が跳くとき—」2006.

3.30 福岡女子大学文学研究会編『文

学における女性と暴力』福岡女子大学文

学部

◎村里好俊

・「父権制社会における女性の戦い—レ

ディ・メアリ・ロウス論」2006.3.20 —

七世紀英文学会 編、『一七世紀英文

と戦争』金星堂

・「イギリス・ルネサンス文化の騎士道文

学—「アーケイディア」の語りの技法

- と女性群像』2006.3.30. 福岡女子大学文学研究会編『文学における女性と暴力』福岡女子大学文学部
- 力』福岡女子大学文学部
- ・『イギリス・ルネサンス恋愛詩集』2006.5.30. 大阪教育図書。
- ・『スペンサーとシドニーのエレジー——悲嘆から愈癒へ』2006.6.22. 日本スペンサー協会編、『詩人の詩人 スペンサー』九州大学出版会
- ・『苦手な作家——ジェイムズ・ジョイス』アンケイト・コラム』2006.5.11.『英語青年』六月号
- ◎村長祥子
- ・『中世ヨーロッパの聖女像』2006.3.30. 福岡女子大学文学研究会編、『文学における女性と暴力』福岡女子大学文学部
- ◎宮川美佐子
- ・『ジェイムズ・エルロイ』秘密捜査』の家族像——恐ろしい父と殺される母』2006.3.30. 福岡女子大学文学研究会編『文学における女性と暴力』福岡女子大学文学部
- ◎田上優子
- ・『福岡女子大学での TOEIC (T・P・I) までどこから』『文藝と思想』第70

平成十八年度

人文学系教員研究業績

- 号。
- ・『主體的な学びで養育する動機づけ——部試験の効果的な導入について』『紀要』(九州英語教育学会) 第34号。

◎山口快生

- ・フアigas・I・M クレーク著 山口快生 翻訳・解説『加齢にともなう記憶の変化』『文藝と思想』第70号

◎森 邦昭

- ・『精神科学の科学性と課題』(重訳)(日本テイルタイ協会『テイルタイ研究』第16号)
- ・『わたしメッセーじ』で児童生徒に認識をもたらし道德授業の試み』(福岡市教育センター平成17年度研究紀要第七二二号)
- ・『事実認識をもとに訴えかける道德授業の可能性』(『文藝と思想』第70号)
- ・『ホーナム大学におけるテイルタイ研究——テイルタイ研究所と精神科学の歴史と理論——』

- (日本テイルタイ協会『テイルタイ研究』第17号)
- ◎望月俊孝
- ・『自然のロゴスに沿う建築——タウトの近代日本文化批判』、『技術と身体——日本『近代化』の思想』(木岡伸夫・鈴木貞義編、ミネルヴァ書房、二〇〇六年三月。
- ・『批判的啓蒙の歴史の哲学』、『カント全集別巻 カント哲学案内』、岩波書店、二〇〇六年三月。
- ・『カントにおける技術への問い』『比較文明的のアプローチにおける技術と自然の変容過程序説』(平成16年度・平成17年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書、研究代表者木岡伸夫)、二〇〇六年三月。
- ◎S・ホルスト
- ・『ドイツのソートリスムの発展と現状』『文藝と思想』第70号2006
- ◎吉田 信
- ・『輝きを放つ、オランダ王室の蒼穹』WELKOM (ウェルコム) Vol.1 EXCELLENT ZETHERLANDS WELKOM VOL.1 (2006年11月17